

ポーランド人と日本人の違いを考えると、「挨拶の違い」が最初に思い浮かべられます。

日本の映画やテレビ番組などを見ると、「すみません」や「ありがとう」などよく耳にします。これはポーランドのテレビではあまり見られない光景です。

そもそも、日本では小さい時から挨拶がどれだけ大切なものか両親からだけではなく、学校の先生や地域の人に教えられているのです。日本人は常に挨拶のことを非常に気にしています。ポーランドではそこまで挨拶や礼儀には拘りません。

私自身も初めて日本人と対面した時、「うわあ〜とても親切な人だなあ。」と思いました。その時はまだ日本語も日本の文化さえもあまり分かっていなかった頃なので、とても印象に残りました。特に大したことをしたわけでもないのに、いつも「すみません」と言う言葉を使う日本人の友達が不思議でした。

誤る時も、何かをもらう時も、そして、質問をする時もいつも使われている「すみません」とはいったい何なんだろう。

日本語を学び始めてから日本人が使う「すみません」の意味や使い方がやっと分かるようになりました。

たとえば日本人がプレゼントを貰う時「ありがとう」と言わないで、たいていの人は「すみません」と言います。それはプレゼントをもらって感謝はしているが、それよりも迷惑をかけてしまって悪かったなあと言う意味も入っているからです。ポーランド人はそんなことは考えていません。ポーランド語には「すみません」の意味は一つしかありません。

「すみません」はポーランド語の「ありがとう」や「ごめんなさい」、「ちょっと失礼します」など含んだ言葉です。こんなにも心遣いができる言葉はめったにありません。

もちろん、ポーランド人は決して無礼な人たちではありません。ただ単に日本人のようにそこまで挨拶に拘らないだけです。拘る日本人と拘らないポーランド人。違いはあっても、ポーランド人も「すみません」の意味を理解すれば、日本人と同様に接することができると思います。

今、私は日本語を勉強しているおかげでもっと親切な人になったと思います。ですから、日本語を学べたことは私にとってとても大切な経験になりました。